



令和2年度

11月3日(火)

赤平市表彰



功労表彰(市政功労)

三浦 日出男 氏



昭和47年3月に赤平市消防団に入団、以来48年有余の永きにわたり、愛郷精神を貫き、勤務勉勵、率先垂範して消防の使命達成に尽力し、幾多の災害に出動し、市民の生命と財産を守り、被害を軽減するなど消防団活動に貢献されております。

平成23年4月からは赤平市消防団分団長、平成27年4月に滝川地区広域消防事務組合赤平消防団副団長を歴任され、さらに平成31年4月からは滝川地区広域消防事務組合赤平消防団長として消防団員100余名の陣頭に立って指揮統率に努め、率先して消防の使命達成に尽力する

とともに、義勇的精神をもって郷土防災のため献身的な努力を重ね、また、火災予防の普及啓発にも力を注ぎ、防火査察、公共施設におけるPR活動を展開し、広く市民に火災予防の呼びかけを行なうとともに、規律厳正な消防団員の士気高揚を図るべく、装備品などの更新並びに消防団員相互の親睦融和を図ることで本市消防団の活性化に努めておられます。

消防庁長官、北海道知事、日本消防協会、北海道消防協会、その他から数多くの表彰を受けられております。

功績表彰(自治功績)

清水 利光 氏



昭和49年4月に赤平市消防団に入団、以来46年有余の永きにわたり、消防の使命達成のため、災害はもとより訓練・警戒においても率先して職務を遂行され、部下団員の指導育成などにも精力的に行ない、団員相互の親睦融和を図るなど、消防団活動に貢献されております。

吉本 卓 氏



平成10年8月に赤平市消防団に入団、以来22年有余の永きにわたり、消防の使命達成のため、災害はもとより訓練・警戒においても率先して職務を遂行され、部下団員の指導育成などにも精力的に行ない、団員相互の親睦融和を図るなど、消防団活動に貢献されております。

文化功労賞



中野 弘基 氏

昭和59年美術協会に入会し、平成13年に事務局長、平成27年からは会長として美術の普及・指導に尽力され、会員の指導を行なう傍ら、平成5年から道展の公募に出品し、平成26年に会友推挙、平成28年会員(審査員)に推挙され、市内の絵画指導や中空知支部展の企画などで活躍されています。

平成23年には赤平市文化協会賞を受賞され、平成25年からは赤平市文化協会事務局長として市民総合文化祭運営の中心を担い赤平の文化活動の向上に大きく貢献するなど、その功績は大きく、赤平市の文化の普及振興に多大な貢献をされており。

善行表彰

幌岡町内会(会長 芳賀 敏雄 氏)

「幌岡町内会」は、会員数139名、世帯数60世帯(令和2年4月1日現在)の町内会です。
春には各班による清掃、冬には「幌岡神社や「ほろおか交流センター」の雪下ろしなど、自然豊かなこの地域の環境保全にご尽力されています。また、幌岡神社の春と秋の祭典や新年交礼会などを通じて、会員の親睦も図られ、昨年からは社会福祉協議会との共同事業「幌岡いきいきサロン」を立ち上げ、軽運動やゲーム、お昼の会食の実施などによる会員みなさんの健康づくりや情報交換・交流などにつながる取り組みも評価されています。

赤平アジサイロードの会(会長 井上 俊昭 氏)

赤平アジサイロードの会は、平成17年4月に発足し、北海幹線用水路の景観美化活動として、北海幹線用水路沿い全長約2キロメートルにアジサイの植栽と桜の植樹を行ない、農業景観の美化活動に取り組んでいます。また、平成23年からは、景観の美化が図られた用水路沿いの水田で、市内の小学校5年生を対象に田植えや稲刈りの農業体験を通じ、食と水の大切さを伝える活動に取り組んでおり、地域農業の魅力発信と地域の交流促進にも力を注がれています。

あかびら市立病院ボランティア(代表 堀 忠 氏)

「あかびら市立病院ボランティア」はボランティア人数49人(令和2年7月1日現在)の団体です。市の財政悪化により財政再建団体入りが懸念され、存続が危ぶまれていた病院のため、自分たちに何かできることはないかと病院ボランティアは平成20年7月に誕生しました。
以降、看護師や看護助手が行なっていた清拭用のタオルたたみや院内案内などの病院ボランティアに取り組んでおり、平成22年にオープンした食堂「ぼらん亭」は、本年7月で10周年を迎え、いつも明るいボランティアの方々の存在は院内に活気をもたらしてくれています。

勤続表彰

30年

民生委員児童委員 丸山 隆司 氏

民生委員児童委員 藤原 税 氏

スポーツ推進委員 八百屋 信子 氏

15年

民生委員児童委員 畑 瀬 禮 治 氏

民生委員児童委員 赤 石 一三三 氏

民生委員児童委員 古 川 辰 子 氏

民生委員児童委員 伊 藤 美喜子 氏

保護司 田 中 隆 志 氏